

★「おすすめの本は、なんですか？」

先生方にインタビューしました★

1、この本との出会いは？ 2、この本のどんなところが好きですか？ 3、峡田小の子どもたちに伝えたいことは？

＊校長・学校図書館長先生

♪ふたりはともだち アーノルド・ローベル 作、三木 卓 訳 文化出版

- 1、初めて2年生の担任をした20代の時。
- 2、がまくんとかえるくんの友情や、互いを思いやるやさしさ、また、物語がかもし出すゆったりとしたふんいきが好き。
とくに「おてがみ」にはかたつむりが登場するのですが、歩みのおそいかたつむりくんがお手紙を届けるやくめになっているところや、お手紙がとどくのを何日も寄り添いながら二人で待つ場面が大好きです。
- 3、どんなに仲良しな友達でも、時には、相手の言葉に傷ついたり、頭にきたりすることがあります。でも、いろいろあっても、やっぱりその人がいないとさみしい、その人に話を聞いてもらいたい、それが「友達」だと思います。
けんかをして気まずくなった時、相手を喜ばせたい時、気持ちを伝えるのに「お手紙」はとてもいいものだと思います。
私は、手紙をもらうことはもちろん、書くことも大好きです。
ぜひ、みなさんも時々、メールではなく、お手紙で気持ちを伝えてみませんか？

＊養護・高橋先生

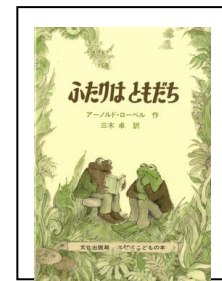
♪ハッピーバースデー 命輝く瞬間 青木 和雄 作 金の星社

- 1、小学校6年生の時、この本のマンガ版を読み、小説でも読んでみたいと思って、学校図書館で借りました。
- 2、心に傷を負った主人公が、いろいろな人とのかわりの中で、心を成長させ、力強く生きていこうとする姿が、頼もしくて好きです。
- 3、たまたま手に取った本が、一生心に残る本になったりします。
たくさん本に出会って、心を育ててください。

＊副校長先生

♪もぐら原っぱのなかまたち 吉田 足白 作 金の星社

- 1、小学校3、4年生のころ。たまたま手に取って読みました。
- 2、物語の中の登場人物たちの楽しそうな様子が、まるで、自分たちのことのように思えたのを覚えています。そのころ、学校もクラスも楽しくて、この本はぼくたちのことを書いてるのかな？と思ったほどです。
- 3、「ああ、ぼくもそうだな」「わたしも、そうだったな」と共感できる本に出会えると、心に力をもらえますと思います。小学校の頃に出会った本は、結構覚えているものですよ。



＊栄養士・馬場先生

♪こまったさんのグラタン 寺村 輝夫 作 あかね書房

- 1、小学校2年生のころ、学校の図書館で。食べ物や食べることが好きだったので、借りられているものが戻ってくるのを待って、「わかったさん」と「こまったさん」のシリーズを全部読みました。
- 2、作り方の歌の部分で、どういうふうにつくるのかな？と想像できるところや、絵がきれいで細かいところまで楽しめるのが好きです。
- 3、何を読んだらいいかわからない、と思ったら、自分の好きなものについて書いてある本を探してみよう。それが、ずっと忘れられない思い出の本になるかもしれませんよ。

